



グリーンピアと一緒に出来ない！

社会保険庁の乱脈経理は、国民として許せません。しかし、だからといって社会保険庁が設置している全国10ヶ所の年金病院まで廃止してしまえというのでは、いささか乱暴過ぎます（年金病院は独立採算で運営され、高知の病院は黒字経営です）。

その声を受け、患者、住民が集い、8月6日に『厚生年金高知リハビリテーション病院の存続・発展を願う会』を結成し、現在、署名や国への要請行動を行っています。

年金病院を残せと県議会でも決議 地域に欠くべからざる病院と高く評価

高知市議会、土佐市議会、春野町議会で「存続・充実を求める決議」が挙がっています。更に、今年3月県議会でも決議が挙がりました。

県議会の決議は、厚生年金高知リハビリテーション病院を「地域に定着し、いまや欠くべからざる存在」、「模範的な保健医療を提供」、「疾病の予防、治療を始めリハビリ事業全般のパイオニア」と高く評価しています。

存続・発展を求める私たちの運動にご協力ください。

県内10万筆を目標に署名に取り組んでいます。ご協力をお願いします。

年金病院をめぐる動き

社会保険庁改革や「官から民へ」の規制緩和を背景に、同庁が設置する保養施設等と一緒に全国10ヶ所の年金病院も廃止売却する動きが浮上。今年6月には法案が成立し、廃止売却を5年をかけてすすめる「整理機構」がこの10月にも設置されます。ただし、年金病院については、地域医療の確保、自治体との事前の相談などの制約が付帯決議でかせられています。廃止売却は確定ではなく、それぞれの年金病院の将来は、地域との関係をいかに密にし、信頼される病院作りを進めるかにかかっています。

支援の声

寝たきり状態だった母親がこの病院にお世話になり、リハビリを受け生き返った。この病院のすばらしさを県下に知らせ、公的病院として存続発展させていきたい。

(患者・家族の会代表の土居怜子さん)

「厚生年金高知リハビリテーション病院の存続発展を願う会」の設立総会の開催、誠におめでとうございます。

貴病院が、疾病の予防や治療をはじめハビリ事業全般のパイオニアとして、地域医療の充実に大きく貢献されてこられましたことに、深く敬意を表します。

本日の会が、実り多きものとなりますことを、心からお祈り申し上げます。

(設立総会に寄せられた橋本高知県知事からのメッセージ)

厚生年金高知リハビリテーション病院の概要

【沿革】

S30年 高知社会保険病院として伊野町に開院。結核の治療目的。

S50年 厚生年金高知リハビリテーション病院として神田に移転。

【概要】

病床数：165床 3階59床(一般)、4階59床(回復期リハ病棟)、5階47床(一般)

診療科：内科・外科・整形外科・泌尿器科・消化器科・リハビリテーション科・麻酔科

【特徴】

整形外科的疾患のリハビリテーション医療、内科的特に脳血管疾患が原因のリハビリテーション医療(理学療法科、作業療法科、言語療法科に分かれる。また、回復期リハ病棟も有する)

透析医療(107名の維持透析を行う。38床で夜間透析も実施)

生活習慣病予防検診(年間7200名が人間ドッグなどで受診)

これらの特徴をふまえ、地域の公的な中核医療機関として質の高い医療、看護を提供しています。また、他の医療機関や在宅医療、介護との連携も強めています。

署名にご協力ください！

厚生年金高知リハビリテーション病院の存続・発展を願う会

事務局：高知市神田 317-12 厚生年金高知リハビリテーション病院内

電話 088-843-1501 連絡は透析室：川野までお願いします